

目次

(1) OFIX 事業・イベント報告

「医療通訳ボランティア養成研修」を実施しました

「第18回大阪留学生音楽祭」を開催しました

(2) 大阪国際クラブ(お便りが届きました)

OFIX奨学生

洪 愛薇 (アン・アイビー)さん マレーシア

(3) OFIX ネットワーク(国際交流関係団体のご紹介)

関西国際交流ボランティアネットワーク会議 (KIV-NET)

(4) OFIX 国際交流員レポート

日本の冬

(5) 留学生会館ニュース

留学生と地域住民との交流会を開催しました

(1) OFIX 事業・イベント報告

「医療通訳ボランティア養成研修」を実施しました

OFIX では、外国人が安心して医療を受けることができる環境を目指し、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の4言語の医療通訳ボランティアを養成するため、大阪府、NPO法人AMDA国際医療情報センター関西、りんくう総合医療センター市立泉佐野病院と連携し、「医療通訳ボランティア養成研修」を実施しました。

研修は、11月7日～12月3日毎週水曜日、5日間行われました。1日目はNPO法人AMDA国際医療情報センター理事長の小林米幸氏、りんくう総合医療センター市立泉佐野病院副院長の伊藤守氏を講師に迎え、医療通訳の概要、心得、外国人医療の現状と課題について講演いただきました。2～4日目は、現在活躍されている医療通訳者や医師などを講師として招き、医療通訳のスキル、各言語別に分かれての専門的な医療用語の学習、また、実践演習として、ロールプレイなどを行いました。最終日には、グループに分かれ、守秘義務や医療文化などをテーマにグループディスカッションを行い、最後にそれらを参考に、目指すべき医療通訳者像について発表し、研修を締めくくりました。

研修生は、平日の5日間の研修にもかかわらず、ほとんど欠席することなく、どの講義も真剣に取り組み、質疑応答やグループワークでも活発に意見を交わしていました。研修後のアンケートでも、「研修日数をもっと増やしてほしい」といった声が多く、参加者の医療通訳に対する熱意が表れていました。

修了者51名はNPO法人AMDA国際医療情報センター、またはりんくう総合医療センター市立泉佐野病院において、面接後、医療通訳ボランティアとして活動します。OFIXは、彼らが活動を通して、今後さらに医療通訳の技術を磨き、より高度な医療通訳者として活躍していただくことで、一人でも多くの外国人が安心して医療を受けることができると考えております。

また、OFIXと大阪府では、ホームページ上で外国人のための医療情報ガイドを掲載しておりますので是非、ご利用ください。

研修生のアンケート結果はこちら

http://www.ofix.or.jp/boran/index5_questionnaire.pdf

外国人のための医療情報ガイドはこちら

<http://www.pref.osaka.jp/iryu/medicalinfo/index.htm>



「第18回大阪留学生音楽祭」を開催しました

O.F.I.X.・(財)大阪国際交流センター・(財)民主音楽協会の主催により、12月14日(日)に大阪国際交流センターにて「第18回大阪留学生音楽祭」を開催しました。大阪に集う留学生たちが母国の伝統音楽や民族舞踊等を披露し、観客の方々と共に音楽を通じて楽しいひとときを過ごしました。

留学生たちが披露した歌や踊りは国境を越え、観客の方々の心に大きな感動が届けられました。

音楽祭の最後には出演者全員が参加する「ワールドステージ」で「ワンダフルワールド」を合唱し、音楽祭は盛況のうちに幕を閉じました。

今回は中国琵琶アーティスト・閻杰(エンキ)さんを迎え、「宵待ち草」「トルコ行進曲」等を演奏していただきました。閻杰さんは大阪教育大学大学院に在学中、当留学生音楽祭の

舞台上に立たれております。「第18回大阪留学生音楽祭」からも閻杰さんに続くプロアーティストが誕生するやもしれません。皆さま、未来のプロアーティストの誕生にご期待ください！



出演者全員参加のワールドステージ

(2) 大阪国際クラブ(お便りが届きました)

O.F.I.X.奨学生

洪 愛薇 (アン・アイビー)さん マレーシア

O.F.I.X.奨学生の洪 愛薇さんから、留学中に感じた「日本の英語圏志向」についてのお便りをいただきました。

二年半前に初めての留学で日本に来て、新奇で面白いことを数多く経験してきた中でも、日本は「英語圏志向」が非常に強いと今でも思います。

来日して三ヶ月ほど経ち英語教師のアルバイトを探していた頃に、英会話学校に電話して口頭面接を受けた時の話です(英語でやり取りしました)。最初は私が英語圏出身だと思われて話が順調に進み、もう一息のところまで「ご出身はアメリカですか」と尋ねられ、「いいえ、マレーシアです」と返すと直ちに門前払いをくわされてしまいました。かろうじて他所で雇ってもらい、ある日生徒たちに「どうして英語を学びたいのですか」と聞いたところ、「英語を話すとかっこいいから」などの返答が返ってきました。それほど英語圏に憧れているのか...と少し呆然としました。

マレーシアの場合は、今時中国語ができなくて英語を母語とする華人の数が増えつつあります。こうした友達に、「中国語を習おうと思ってないの」と聞いたら、「中国語なんて要らないよ。英語さえ出来れば出世できるし」と言っただけでした(当時は中国が経済的に浮上する傾向はまだ顕著ではなかった)。もちろんこのように考える人は一部に過ぎず、独学でも中国語を一生懸命身につけようとする人もたくさんいます。私自身は中国語を母語とするおかげで中国民族に 5

千年もわたって受け継がれてきた先人の知恵や美德などを知ることが出来たことに対して常に感謝しています。

私のように、中国系マレーシア人という独自のアイデンティティを維持しながら、国際コミュニケーションのツールとして英語も身につけた人が少なからずいます。面白いことには、マレーシアではわざとらしくアメリカアクセントなどで英語を話すことに対しては、「気取ってるやつ」というマイナスな印象を受けることが多いのです。それは恐らく大国志向というものに抵抗感があるからでしょう。リンガーフランカ¹としての英語を話す上では明瞭で国際的にも通じやすい発音がある程度必要だが、自国の文化を捨てて英語圏文化に同化し、ネイティブスピーカーと同じ英語を話す必要はないのではないかと日本での留学経験を通して改めて考えさせられました。

1 共通語



竹笛に挑戦する愛薇さん

(3) OFIX ネットワーク（国際交流関係団体のご紹介）

関西国際交流ボランティアネットワーク会議 (KIV-NET)

KIV - NETは、1995年のAPEC大阪会議の開催をきっかけに、関西の国際交流団体が意見や情報の交換等を行い、国際交流ボランティア活動の発展、振興に寄与することを目的として、1996年3月に設立されました。

以来、第8回国際エネルギーフォーラム(2002年)、第3回世界水フォーラム(2003年)や世界陸上2007大阪大会などの大規模イベントにおいて、KIV - NETのネットワークを活かしたボランティア支援を行ってきました。

先に開催された運営委員会や総会では、関西での大規模イベントが減少する中で、KIV - NETの今後の運営について意見交換が行われ、今後とも、関西全体を対象とした唯一の広域的なボランティア協力組織として重要な役割を担うため、大型イベントへの支援や情報交換についての連携を深めていくことが確認されました。

総会では、大阪SGGクラブ、(社)アジア協会・アジア友の会、外国人サポーターネット・大阪の活動紹介に続き、平城遷都1300年記念事業協会から、2010年に奈良県を中心に1年間にわたって開かれる「平城遷都1300年祭」の関連イベ

ントについての詳細な説明を受け、KIV - NETとしても積極的に取り組むことを確認しました。

また、KIV - NETでは、新たに(財)和歌山県国際交流協会、外国人サポーターネット・大阪、(財)京都市国際交流協会が加わり、現在の会員数は80団体になっています。

事務局は、OFIX と(財)大阪国際交流センターが毎年度交互に担当しています。ご入会を希望される団体は、OFIXまでご連絡ください。



総会の様子

(4) OFIX 国際交流員レポート

日本の冬

私は大阪の冬が大好きです。もちろん少し寒いですが、私にとって息苦しく蒸し暑い夏よりは全然ましです。(私の出身のロンドンでは「息苦しい」と「蒸し暑い」はほとんど使われていない言葉です！)

今回は、このOFIXニュースをご覧になっている海外の方向けに日本の冬とこの時期によく使われているものについて紹介しようと思います。最初は「カイロ」です。いろんな形の暖かい使い捨てパッドでコンビニやスーパーで売っています。カイロを少し振って、体の温めたいところにつけるだけです。(直接肌につけないでね！)。24時間ずっと暖かくて、寒い冬の日にとっても助かります。カイロはどのようにできているのでしょうか？皆さんの今月の宿題です！



カイロ

日本の冬に不可欠なものは、もう一つあります。「こたつ」です。これはヒーターがついている低いテーブルです。四角形の布団をテーブ

ルのフレームの上に載せて、布団の上にテーブルカバーを載せます。中に入って、ヒーターをつけたら、もう動きたくなくなります！日本の家では集中暖房がついていないので、家を全体的に温めるより、場所ごとに温めます。こたつを使うことで経済的に温めることができます。



こたつ

日本のお正月は、イギリスを含め他の国に比べるとかなり静かに過ごすと思います。ほとんどの人は家で家族とゆっくり過ごします。イギリスだと特に若者は外に出かけて、友達と飲みに行くことが多いです。

日本では、お正月におせち料理という特別な料理を食べます。おせち料理は、神様を迎える新年に台所を騒がせてはいけないという考えや、お正月の3日間は女性がゆっくり休むことができるようにという考えから、煮物などの保存が利く料理を重箱という容器につめたものです。おせち料理にはいろんな縁起をかつぐ意味のある独特な食べ物があります。

例えば、「数の子」はニシンの卵巣を乾燥したもので、たくさん子供を授かるようお願いする意味があります。また、おめでたいという意味でタイもよく食べます。主な料理として、「お雑煮」というもちが入っているスープがあります。面白いことで、場所によるとスープの材料がかなり違って来ます。西日本ではスープは味噌でできていますが、東日本では、おすましという透明なスープです。

「初詣」という伝統もお正月の行事として、とても大事なものです。多くの日本人がお寺や神社に行って、新しい年の

お祈りをして、楽しい雰囲気を楽しみます。

日本の冬はちょっと寒いですが、みなさんぜひお正月を日本で過ごしてみてください。もちろんできれば日本人の家に行って、おせち料理も体験してくださいね。

少し早いですが、
A HAPPY NEW YEAR!



おせち料理

(5) 留学生会館ニュース

留学生と地域住民との交流会を開催しました

OFIX が運営する「大阪府堺留学生会館オリオン寮」及び「大阪府千里留学生会館」において、留学生の相互交流と地域住民とのコミュニケーションを深めることを目的として、留学生の自主企画による交流会(パーティ)を開催しました。

オリオン寮“ウインターパーティ”(12月6日)

オリオン寮では、地元自治会の方々に書道や日本の唱歌のご指導をしていただき、留学生の企画による借り物競走などのゲームを楽しみました。

千里留学生会館“クリスマスパーティ”(12月7日)

千里留学生会館では、留学生が先生になって中華風力ボチャ饅頭を地元の方々と力を合わせて調理しました。また、割り箸を使ったリレーゲームなどを楽しみました。



書道の体験(オリオン寮)



全員で記念撮影(千里留学生会館)

その他の募集・お知らせ

- ・ 国際交流イベント情報の募集・紹介(イベントカレンダー) <http://www.ofix.or.jp/cgi-bin/calender.cgi>
- ・ 国際理解学習の授業(小中高)に国際交流員や留学生等を派遣します。 <http://www.ofix.or.jp/jigyuu/index.html>
- ・ NGO・NPO が行う国際理解学習をサポートします。 <http://www.ofix.or.jp/jigyuu/index5.html>
- ・ 大阪府堺留学生会館(オリオン寮)の入居者募集中 <http://www.ofix.or.jp/shien/index.html>
- ・ OFIX ボランティアの登録制度のご紹介 <http://www.ofix.or.jp/boran/index2.html>
- ・ OFIX 賛助会員の募集及びご寄付のお願い <http://www.ofix.or.jp/sanjyo/index.html>

OFIX ニュースについてのご意見、ご感想はこちら info@ofix.or.jp

大阪国際クラブの会員の皆様からの海外情報(レポート)はこちら clubnews@ofix.or.jp

OFIX ニュース配信登録はこちら <http://www.ofix.or.jp/mail/index.html#japanese>

バックナンバーはこちら <http://www.ofix.or.jp/mail/backnumber.html#japanese>

発行:(財)大阪府国際交流財団(OFIX)

〒598-0048 泉佐野市りんくう往来北1番りんくうゲートタワービル17階

TEL 072(460)2371 FAX 072(460)2377

